

金山町 **議会だより**

第200号

平成30年 2月 7日

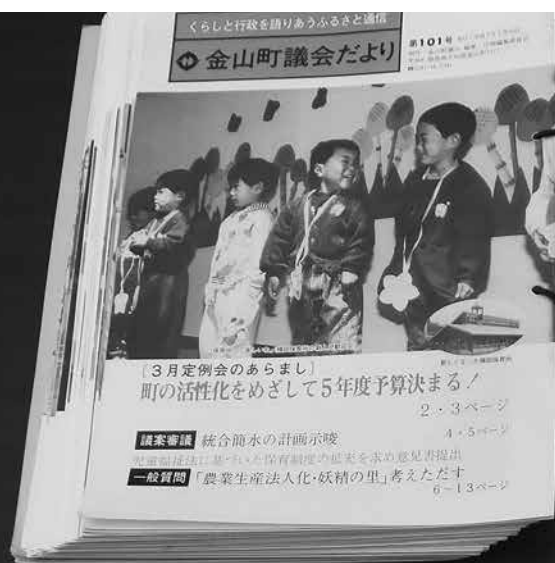
発行 金山町議会

編集 議会だより編集特別委員会

〒968-0011

福島県大沼郡金山町大字川口字谷地393

☎ 0241-54-5341



創刊号（昭和46年9月発行：B5版横）からの議会だより。

大きさもB5版縦（第41号昭和53年5月）そして現在のA4版縦（第93号平成3年5月）へと変わってきた（最終頁に、議会だより編集委員長の「窓」あり）

〔12月定例会のあらまし 会期／12月8日～12日〕

	(ページ)
12月定例会 補正予算、条例の制定	2～3
人事、議会報告会、議案等審議結果一覧	4～5
一般質問に8人登壇	6～13



5月2日に実施した、観光施設特別委員会の現地視察の様子
3月定例会以降3回の審議と現地確認により、一部を除き事業実施の「凍結事項」を6月定例会で解除した
(議会日より198号でお知らせ済み)

12月定例会

空家対策 事業進捗速やかに

12月定例会は、12月8日から12日にかけて開催され、一般会計補正予算など14議案と、報告1件が提案され、金山町町営バス条例の一部改正については、撤回されましたが、そのほかは原案の通り可決されました。一般質問には、8人が登壇し町政をただしました。

12月補正（議案審議）

空家解体事業 冬季間の工事 心配だ

問 空家解体事業については、年度当初の予算の段階において、「もう少し検討を加えないか」という中で特別委員会を開催し、各委員から了解をとり、事業は遂行されているわけです。雪の中で事業遂行が心配されますが、問題ないのか。また、110万円の増額になった中身も、詳しく教えていただきたい。

答 建設課長 上横田の 特定空家の解体と、それに伴う周辺整備です。特定空家については、建っている状況ではなく、ほぼ倒壊している状況で、町のほうで工事をするに当たっての設計書をつくる際に、基礎となる分別の数量がはっきりしませんので、解体業者の見積もりを参考に設計を組みました。当初500万円が、増額補正となりました。その内容については、仮設用の災害防止シート、分別解体、産廃処理場までの運搬、産廃処分料です。今回の金額は、あくま

でも仮の数字です。実際、解体分別し産廃の処理場に持ち込んだものが、幾ら処理されたかを証明する管理表（マニフェスト）が出されますので、実績に基づく金額での精算を考えています。また、屋敷跡地については、冬期間の除雪（雪押し場）の箇所ということで、実際道路から跡地部分が、約20センチの段差がありますので、段差解消であったり、側溝にふたをかけたたり、除雪ドザーが乗っても安全な周辺整備を含めて、110万円の増額ということになっています。今の状況としては、空家解体をする土地と建

物の所有が、町にまだ移っていないので、それが移った段階で、工事の入札を予定しています。これから3月までの3カ月間で、解体工事ができるかはちょっと難しい部分もありま

29年度事業のはず 繰越事業 云々ではない

問 空家解体事業、説明伺ったわけですが、やはり私どもは特別委員会の中で取りまとめするに当たって、平成29年度事業としての取りまとめをしているわけ

ないという状況であれば、特別委員会の審議も、徒勞に終わるようでは困ります。繰越事業云々の話は、今の時期では申し上げよう

「ごいません。」「事業遂行については決まったとおりで」ということです。

答 町長 私が課長会とかで、3月の新年度予算を組む、それに対して今年度1年間あるから、入札が9月、10月、11月というよ

うことは、大変まずい慣例だ」ということを、常々言っているわけです。このサイクルを少しでも変えていかなければだめだとい

うことを、今盛んに指示しています。これからの事業執行については心がけていかなければならないと思

ラジオ放送 開局特番 54万円は適正か

問 ラジオ放送委託54万円、開局特番ということ

だが、放送の内容は。

答 復興観光課長 ラジオ福島からの、今回の開局記念のスペシャル番組の案です。

問 この「か」とびワイドなすけんパーティー」という番組がレギュラー番組なのか、この開局特番のためにつくられた番組なのか、それによってこの見積

書が妥当なものかどうかというのが判断できると思う。

答 復興観光課長 長年やっているレギュラー番組の特別企画です。

問 全編を、例えば2時間なら2時間、金山で買い取

ってやるというのであれば、電波料も発生するだろうし、出演料も発生するだろうし、ディレクターも必要だから、それも発生する。それならわかります。レギュラー番組のそれぞれのコーナーの中継を金山からやるから、タレント費出せとかというのは、ちょっとおかしいと思うが。

答 町長 この企画につきましては、様々なご意見があるうかと思えます。金山町で難聴解消のためにFM化をしながら、難聴を解消するという事業を行ってききました。その間、ラジオ福島さんには、大変

町営バス条例を撤回

再検討が必要と言うことで、「金山町町営バス条例の一部改正」について撤回の請求が町長から議長に出され、議長が許可しました。

町営バス(町内交通)を 特別委員会で協議

町営バスを含む町内交通のあり方について観光施設運営整備研究特別委員会で協議することになりました。

地域おこし協力隊 引き続き 募集している

問 地域おこし協力隊と

金山町も色々とお世話になつてきました。私たち素人ですから、マスコミのこういう企画が高いのか、安いのか、そんなに詳しくはわかりません。私はこれに

●補正予算の訂正

小型除雪機械修繕補助金は、検討の余地があり、削除されました。

条例（議案審議）

任期付職員の 採用等に関する条例 どんな人が対象

問 具体的に金山町でどう

答 総務課長 保育士、運転手、それから災害等に伴いまして、現在長期的に雇用している職員がいま

3300万円の基金出資金 町に返還

会津若松地方広域市町村圏整備組合（全会津28市町村で構成）で実施していた、「あいづふるさと市町村圏協議会」の事業を廃止することに伴い、その事業のために金山町から出資していた約3,300万円が、返還されます。この事業は、平成8年から実施され、金山町では、地域おこし団体への助成や物産販売などの経費に活用されてきました。事業が20年以上経過したことや基金（約30億円）の利息が低下したことにより、事業及び基金を廃止することになりました。

問 5年を過ぎても働きたい人に対して、もう一度試験を受けなければならぬというのでは、どういふわけなのでしょう。

答 総務課長 試験を受ける人で引き続きということになると、通常の職員を雇えば良いという話になります。今回は、仕事量の増加や、特別な技術を持つている人に対し期間を定めて雇用するものですので、一般職員と同じよう



古殿町議会が来町 議会運営などを調査

石川郡古殿町議会の議会運営委員会の5名と正副議長が、「委員会研修視察」のため11月7日に金山町議会を訪れました。金山町では、高齢者福祉対策や議員提出議案（通勤手当の改正）などについて研修視察されました。

■ 人事

◆金山町固定資産評価審査委員会委員

12月定例会で、金山町固定資産評価審査委員会委員の選任に同意しました。

長谷川 金 助（川口・63歳） 新任

任期は、3月16日から3年間で。

に、試験無しですと勤めるといふ制度ではありませんが、そういう場合については、ほかの制度、嘱託で職員を配置するとか、派遣職員ということ、民

● 議会報告会を開催 希望を教えて下さい

希望があれば、平成30年度から、議会報告会を再開する予定です。

報告会の希望（意見）を教えて下さい。

① 議会で決定したことを教えて欲しい。

② 町の懸案事項について教えて欲しい。

③ 私の意見を聞いて欲しい。

④ 地区の意見を聞いて欲しい。

⑤ その他

皆さんの希望（意見）を、できるだけ反映させた議会報告会を開催したいと思っておりますので、希望（意見）をお寄せください。

◆希望（意見）は、各議員が、議会事務局へお知らせ下さい。

◆各行政区の区長には、3月下旬に改めて、文書で日程や会場、及び開催内容等の希望（意見）をお伺いします。

10月31日 第6回臨時会

臨時会では、上横田の共同住宅の設置条例など4件が審議され可決されました。共同住宅に対して町長から「まずはスタートする。条例に不備な点が出てくればその都度改正する。皆さんからご指摘をいただき完全なものにしていく」と答弁がありました。（次ページの議案等の審議結果一覧参照）

■ 議案等審議結果一覧

※議長は、採決に加わりません（賛否が同数の場合には議長が採決します）
※賛成「○」 反対「×」

件名	議決結果	栗城康太郎	青柳ヨシ子	加藤賢享	黒川廣志	奥高伸	横田正敏	高橋信彦	五ノ井義一	馬場清次
■ 第6回臨時会 平成29年10月31日開催										
専決処分に関する承認について （衆議院議員総選挙の経費）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町多目的共同住宅条例の制定について （上横田の共同住宅）	可決	×	○	○	○	○	×	○	×	○
平成29年度金山町一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得について （国保診療所の医療機器購入）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
■ 第7回定例会（12月定例会） 平成29年12月開催										
金山町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町町営バス条例の一部改正について	撤回	再検討が必要と言うことで、撤回になりました								
職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員の給与に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町税特別措置条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
会津若松地方広域市町村圏整備組合理約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度金山町一般会計補正予算（第6号）	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○
平成29年度金山町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度金山町簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度金山町町営バス事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度金山町介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度金山町特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度金山町特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意について（長谷川金助氏）	可決	投票による採決（賛成8票・反対1票）								
■ 報 告（12月定例会で報告されました）										
専決処分に関する報告について（金山町大塩グラウンド整備工事の変更契約）										



豪雨災害後、再建（平成26年）された湯倉温泉
安定した湯量の確保が急がれている

五ノ井義一議員の 一般質問



『第四次金山町振興計画「基本構想」について』

買い物弱者対策は重要な課題だと認識

問 基本構想に書かれている以下のことについての現状と、今後の対策を伺います。

問① 消費者ニーズへの対応と地域内流通システムの確立。

答 町長 本町の小売業は、経営規模も小さいため十分な品ぞろえが難しく、町外への消費の流出が進んでいる状況です。妖精の

里商品券事業等により町内消費の喚起を図っており、今後も引き続き取り組んでいきます。高齢化が進む中、買い物弱者対策は重要な課題だと考えており、今後、町商工会等と検討を

進めるとともに、来年度より本格運行を実施する町営バスの活用も視野に入れて、対策について検討していきます。

問② 集落内小規模商店の地域コミュニティに

よる設立及び運営支援に立や運営について支援するものです。現在のところ具体的な動きはありませんが、今後の動向を注視し、地区からの要望がある場合は支援を検討したいと考えています。

『町内各地で実施された集落内座談会について』

自助・共助・公助で地域を支える

問 各座談会から見えてきた金山町の問題点は何なのか伺います。

問① 少子高齢化は。

答 町長 地域住民の高齢化による水路管理・草刈りなどの維持管理が困難になってきているとの意見があり、地域住民が集落の維持に不安を抱いていると認識しています。難しい問題ではありますが、自助、共助、公助の精神で地域全体を支え合う体制をつくっていくことが重要だと考えています。

問② 各地で予想される只見線復旧工事、河川整備計画の実施、国道改良工事等の問題点は。

答 町長 計画の進捗状況や工事内容を地域住民に対して丁寧に説明して欲しいという意見がありました。関係機関に対して申し入れをしたいと考えています。

問③ 観光施設の維持管理の問題は。

答 町長 観光施設の維持管理については、観光地として景観維持のために

雑木伐採や植栽を継続して実施して欲しいとの意見がありました。

問 各温泉施設の整備について、町長はどのような考えなのか。

答 町長 町が管理している「せせらぎ荘」は当然やらなければいけません。そのほかの八町温泉、湯倉温泉、大塩温泉などは各地区の皆さんが整備され、管理をされています。地区で管理している温泉施設については、まず地区の皆さんで十分に管理をしてい



和式便所（男女）を洋式に改造したい
自然教育村会館（男子便所）



栗城康太郎議員の 一般質問

『金山町総合戦略について』

それぞれ検討し、出来ることから実施したい

問Ⅰ IJU（移住）ター
ン促進事業について伺う。
極端に少子高齢化が進行
した当町においては、集落
の機能や特産物の生産を
維持するためにも、若者の
移住促進事業が極めて重
要であることは論を待ち
ません。若者の移住促進事
業について、今までにない
斬新で大胆な施策が必要
ではないかと考えます。

問① 地域おこし協力隊
への応募がなかった原因
は。

答 町長 県内では、県
や市町村ともに協力隊の
確保に苦慮している状況
です。その要因としては、当
該制度が全国的に普及し、
多くの自治体が協力隊制
度に取り組んでいること
や、全国的に景気が拡大し、
有効求人倍率が43年ぶり
の高水準となるなど、日本
全体が人手不足となってい
ることも関係している
と分析しています。

問② 「地域社会維持発
展法人」制度についての
考えは。

答 町長 この制度は自
由民主党が現在検討を進
めているもので、過疎地で
若者の雇用確保に取り組
む団体を、自治体が「地域
社会維持発展法人」と認定
し、政府がその団体に対し、
財政や税制面で支援する
制度として検討している

ものです。町としても、今
後の動向に注視し、情報収
集に努めたいと考えていま
す。

問Ⅱ 自然教育村事業の
再構築について伺う。町長
は「この町に最も合った事
業として自然教育村事業
があり、自然教育村会館を
再構築するということは、
この町の将来進むべき道
として、間違った施策では
ない」と等と答弁されていま
す。私も同様に考えます。

問① 県知事視察の結果
は。

答 町長 9月14日の県
知事視察についてですが、
知事には、自然教育村会館
とその内部に保存されて
いる弥平民具をごらんい
ただき、自然教育村会館に
ついては、「木造で教育環
境の良い施設であること
から、当該施設は教育旅行
に必要である」、弥平民具
については、「このまま保
存しているだけではもっ

たいないので、活用を検討
してはどうか」との助言を
いただいたところです。

問② 住宅宿泊事業法施
行に向けた支援策は。

答 町長 当該法律は旅
館業法の規制緩和を目的
としたものですが、県から
の情報によれば、空き家を
活用した民泊である「家主
不在型」については、旅館
業法の簡易宿所と同様に、
自動火災報知機誘導灯な
どの設備が必要であり、整
備費用がかさむことから、
規制緩和のメリットが生
かせないと思われます。家
主が住む住宅の空き部屋
を貸し出す「家主居住型」
の方が規制緩和のメリッ
トが大きいと考えていま
す。なお、当該法律は来年
6月から施行されること
となつていますが、国から
詳細なルールを定めたガ
イドラインがいまだに示
されていません。今後、国
の動きを注視しながら、町

として対応策を検討して
いきたいと考えています。

問③ 基本体験メニュー
の検討結果は。

答 町長 現在、「自然教
育村事業」として、観光客
向けに季節に応じた様々
な体験メニューを実施し
ています。しかし、体験メ
ニューを実施できる団体
が、「NPO法人奥会津金
山あそびのがっこう」しか
ないことから、観光物産協
会でも、指導者の育成のた
めの体験メニュー講習会
を行つていきます。

問④ 自然教育村会館の
トイレ改修計画は。

答 町長 自然教育村会
館には、1階に男子トイレ、
女子トイレ及び共用のト
イレの3室がありますが、
トイレの洋式化の要望が
多いことから、平成30年度
当初予算にトイレ改修を
提案したいと考えていま
す。



スキー人口拡大のため
スキー・スノーボード講習会

加藤賢享議員の 一般質問



『手厚すぎる教育費の無償化！』

全国に先駆け実施してきた

問 地域一体型ふるさと教育事業として、教育費の無償化を実施しているが、中には「ここまで無料にしないで」という考えから、平成26年度から「地域一体型ふるさと教育事業」の一環として教育支援を進めています。特に、子育て世代の負担をなるべく軽減し、各種支援策を講じながら、子供を少しでも産んでもらい、子育てのしやすいまちづくりを目指して取り組んでいるところです。次

む少子化の中、子供は「町の宝」であるとの認識のもと、町全体で子供を育てていこうという考えから、平成26年度から「地域一体型ふるさと教育事業」の一環として教育支援を進めています。特に、子育て世代の負担をなるべく軽減し、各種支援策を講じながら、子供を少しでも産んでもらい、子育てのしやすいまちづくりを目指して取り組んでいるところです。次に、教育費の無償化によって、若者や子育て世帯の移住・定住はあったかの質問についてお答えします。教育の無償化によるかどうかの検証はできませんが、平成26年度以降の転入世帯は、子供のいる世帯は2世帯。若者も数人入っていますと聞いています。また、現在、小中学校に児童生徒が在籍している転入世帯は、家庭の事情により実家のある町内に移住し

ている世帯は7世帯、仕事等で来た世帯は5世帯、被災地よりの転入家庭は1世帯あります。合わせて13世帯になります。色々な事情を抱えて転入してきた家族にとつて、安心して学校に通わせることのできるこの制度は、心強い支えになっているものと考えます。

問 私は昔の古い人間だと思われるかもしれませんが、んけれども、やっぱり人間だと思えます。

答 町長 全国に先駆け教育の無償化をやってきたということは決して無駄ではなく、金山町の存在をその面では知らしめたと言えると思います。

『お金のかかり過ぎるスキー場を廃止に向け検討を！』

検討時期に来ていると認識

問 町は長年にわたりスキー場を経営しているが、毎年多額の修繕や維持管理費がかかり貴重な多額の税金(町全体の損益超過5年間平均2千7百万円)を投入している割には効果が上がっていると思いません。多額の税金の無

駄遣いなので早急に廃止に向けて検討すべきだと考えますが、町長の考えを伺います。

答 町長 議員ご指摘のとおり、スキー場には多額の維持費や修繕費がかかっています。費用としては指定管理料、修繕費、敷

地の借り上げ料がかかります。しかし、スキー大会を実施することで毎年約300人が町内に宿泊することや冬期間スキー場で約10人の雇用があることもスキー場の経済効果として考えなければなりません。今後は、事業の縮

小や新たな活用方法の模索を含めて、当該スキー場のあり方を検討していく時期に来ていることは、議員おっしゃるとおりだと考えています。



せせらぎ荘まで乗り入れする
町営バス（玉梨線）



高橋信彦議員の 一般質問

『JR会津川口駅利用者の二次交通について』

町営バスは町民重視で検討した

問 平成30年度からの「金山町町営バス」の運行について、「町民の足の確保を第一とし、観光客の二次交通の確保はその後」とあるが、その後とはいつなのか。またその後はどの様にされるのか伺います。

答 町長 金山町の公共交通は、運賃収入で運行費用を賄えない不採算路線ですが、公共交通は地域住民にとって利用・存在価値

があり、なくてはならない移動手段です。この採算性を上げるために二次交通で勝負することは、金山町では行いうべきでないかと判断し、このような表現を使用しました。観光客にも乗車してもらいたいと考えています。現在の人の動きを考えると、観光客などが二次交通として町営バスを利用することが少ない状況です。そこで、町民の生活を重視し足を確保するため、まずは地元の人を利用しやすいダイヤを考

え、JRを利用して町に訪れた方にも利用しやすいダイヤ編成を考えました。観光目的で来町される方の交通は、町営バス単独で考えてもうまくいきません。JR再開通も踏まえ、他町村と連携した広域的な交通体系の見直しやツアー旅行やイベント企画など需要を掘り起こす対応が必要と考えています。

問 昨年12月、東武鉄道のリバティに乗り継ぎできるバスについて質問した際に、町長は「東武鉄道に

よる直通特急の会津田島駅乗り入れについて、金山町を訪れる人、あるいは関東方面へ出向く人にとって有効な交通手段となるものと考えており、昭和村や関係機関との協議を行い、有効的な方策を探っていきたいと考えています」と答弁がありました。今年の3月にも同じ質問しました。本当に昭和村さんとの協議されているんですか。東京の人が、わずか4時間、乗りかえ1回である炭酸温泉に来られるんで

『特産品の振興について』

関係機関と連携し取組む

問 金山町で特産品として「エゴマ」、「赤かぼちゃ」、「マコモタケ」の今年度の生産実績と、増産増益に向けた次年度の取り組みを伺います。

答 町長 作付面積は、エ

ゴマ約2・5ha、赤かぼちゃ約10ha、マコモタケ1haでいずれも増えています。生産量は、エゴマとマコモタケについては今後の集計となります。赤かぼちゃについては、検査数量

約1万2300個で検査合格率が58・14%となっています。販売額は、道の駅での取り扱いが2214個で181万6900円の実績となっています。また、増産増益に向けた取り

組みについてですが、それぞれの生産者組織や関係機関と連携を図り、具体的な取り組みについて協議していきます。



冬季間の自然教育村会館

黒川廣志議員の 一般質問



『観光施設の維持管理について』

自然教育村会館は引き続き活用していく

問 自然教育村会館の過去6年間の収支は、年間5万円を稼ぐのに140万円の経費がかかっている。大赤字の施設だ。築62年、老朽化し、耐震化もされていない。振興計画では老朽化施設の解体も明記している。また、平成21年度策定した観光施設活用計画では「廃止」と明記している。殆ど利用していない

施設だ。平成29年3月策定の「金山町公共施設総合管理計画」でも「最適な管理、適正な管理に努める」と明記している。維持管理や費用対効果の面からも廃止すべきと考えるがどうか。

答 町長 自然教育村会館の耐震診断については、建築物の耐震改修の促進に関する法律第14条で、

「3階建て以上かつ100㎡以上の建物の所有者は耐震診断を行い耐震改修を行うよう努めること」とされていますが、その用途に該当しない建物です。金山町観光施設活用計画では、民間の宿泊施設である「湖山荘」での宿泊者受け入れを前提として、自然教育村会館を廃止

するとしています。当該施設は既に解体し、前提条件が変わっています。自然に接することの少ない都会の子供たちに、豊かな自然を活用しながら昔から受け継がれてきた山村の生活と文化を実際に体験してもらう「自然教育村事業」は、この町の地域資源を活用したこの町に最も

『平成30年度から運行予定の町営バスについて』

費用対効果は、通常のタクシー並み

問 試験運行の総括は、費用対効果は。

答 町長 総括ですが、「移動手段として非常に重要であり今後も継続していかなければならない」ということになります。利用者は、毎月400人程度でしたが、11月は460人に増加しています。1人当たりの費用対効果は、乗り合いのタクシーなどと比べると

かなり割高となり通常のタクシー並みとなります。が、定時バスの利用価値と存在価値を改めて感じました。費用対効果は非常に厳しいものがありますが、移動手段としてなくてはならないものと考えています。

問 有償運転の計画だが、従前の有償運転との収支の比較を数値で示せ。

答 町長 年間の収支予想についてお答えいたします。平成28年度は、朝夕方の2便の運行でしたので比較にはなりません。が、支出が1400万円程度で収入が550万円、差し引き850万円程度の持ち出しでした。これには、担当する職員の人件費が入っていますので、ほぼ持ち出しがない状況です。



今年の冬は、値上がりするのかな～



青柳ヨシ子議員の 一般質問

『福祉灯油について』

問 昨年に続き灯油が値上がりしています。昨年4月64円(リッター当たり)から21円値上がりして84円でした。今年は87円になっています。この先も値上がりするのではないかと心配しています。昨年12月議会で「値上がりしたら考える」と答弁されました。豪雪地帯に住む金山町の高齢者にせめて少しでも

寒い冬を暖かく過ごすために、65歳以上で非課税世帯に1万円の福祉灯油を実現して下さい。

答 町長 これまでの答弁の中で、町では高齢者福祉施策として除雪支援を始めとした様々な取り組みを実施しており、また、国が実施する臨時福祉給

付金の支給もあったことから、これらに加えてさらに福祉灯油として灯油代を支給することはしないと申し上げてきました。ただし、将来灯油価格が急騰するといった特別な状況になった場合は、十分に検討しなければならぬと答弁したことも、ご指摘の

とおりです。これは、灯油代として単にお金を配るというのではなく、急激な状況の変化に応じた臨時的な救済策という考えをしているということです。そこで、何をもって灯油価格の急騰とみなすのかということになりましたが、ある一定の基準を設定して、灯油価格がその基準を超えた場合には灯油券を支給するという方法は考えられると思います。いずれにしても、実現のためにはなお検討の余地があると思っています。なお、町内の65歳以上の非課税世帯数は、12月1日現在で278世帯です。

さらに検討の余地がある

『上横田の共同住宅について』

上横田をモデルに進めていきたい

問 29年度、上横田地区に決まった共同住宅、ほかの地区の区長さんからも、「高齢者が多いので冬の間だけでも共同住宅があると安心だ」という声が寄せられています。そこで、町民にアンケート調査を行ってもらいたいと要望がありました。アンケート調査をしていただけないでしょうか。

答 町長 平成25年度に

高齢者共同住宅に関するアンケート調査を実施しています。対象者は、町内に住む65歳以上のみで構成される世帯の方で、813名に配付し747名から回答をいただきました。アンケートの中で「金山町で暮らしていくために高齢者の方が共同で生活する住宅は必要だと思いますか」という設問に対して、60%の方が「必要」と回答しています。また、「金山町に高齢者の共同住宅があれば利用したいと思いませんか」という設問に対しては、「利用したい」が17%、「条件が合えば利用したい」が44%で、両方合わせると61%となり、「利用しない」の18%を大きく上回る結果となりました。町ではこのアンケートの結果を踏まえ、また、その後の状況を考慮しな

ら関係機関と協議を重ねて、上横田地区に共同住宅を整備しています。なお、今後の整備については、上横田共同住宅をモデルとし、必要性を十分に検討した上で進めていきたいと考えています。



横田正敏議員の 一般質問

『金山町を元気に』 するための職員採用を』

任期付職員を採用したい

問 公務員試験対策に時間をかけ「教養試験」で高得点を取る人が、「求める職員」ではないと思う。「作文試験」「集団討論」複数回の「面接試験」を重視し受験者の意欲や考え方を評価するように、採用試験を見直す考えはないか。

問① 任期付職員の採用は検討したか。

答 町長 今議会に任期付職員の条例を提案しま

した。今までの臨時職員の任用方法が、職務の内容、勤務形態に応じた任用根拠として正しいか検討した結果、新たに任期付職員制度を創設するものです。任期付職員になると職員同様、本格的業務に従事することが可能になり5年以内の任期の設定、給料の

ほかに手当の支給も可能となります。ただし、任期終了時点で、その業務を継続する必要がある場合は、再度試験を行うことになり、任期の更新を確約する制度ではありません。

問② 臨時職員の待遇改善を。

答 総務課長 ある程度は改善になりますが、まだ待遇が悪い状況ですので、その条例の中の内部の改善については、今後の検討材料と考えています。

問③ 只見川河川整備計画の実施が早急に進むよう、任期付職員を採用し取り組んで欲しい。

答 総務課長 只見川河川整備計画もですが、JRの復旧に伴う諸用地の交渉や景観形成に伴う立木の所有者の把握と新たな業務も含め、土地絡みの問題等が山積しています。そのような業務に対して、任期付職員というのも一つの方法ですので、今後検討したいと思っています。

『ホームヘルパーの確保を早急に』

バス事業も介護事業もどちらも大事だ

問 今後増えるであろう認知症対策は。

答 町長 重要なことは、認知症について理解を深めてもらい、予防につなげていくことだと考えています。町では、認知症地域の相談や情報交換の場としてのほっとカフェの開催、認知症サポーター養成講座の実施など、様々な取り組みを行っています。

問 ホームヘルパーの確保と労働条件の改善を。

答 町長 人材の確保には苦慮しているのが現状です。現在ホームヘルプステーション「ゆうゆう」には、ホームヘルパーが1名登録ヘルパーが訪問と入浴合わせて5名おりますが、在宅介護の充実という点からは不十分であり、利用者の要求に応え切れないのが現状です。これ

は一つの事業所の課題であるばかりでなく、町全体の課題と捉え、ヘルパーの確保を始めとした体制の充実に向けて取り組んでいきたいと考えています。

問 無料の町営バスが走っているが、在宅介護支援など「もっと他に先にやるべきこと」があるのではないか。

答 町長 介護事業は採算性が合わないからやらないという事です。

ないと言う訳には参りません。町の重要な施策の柱です。お金はかかってもやむを得ないと割り切らなければと思います。バス事業もそれと同じだと認識しています。金山町、本

にせつば詰まった状況だということは皆さんもご承知だと思います。どちらが大切ということではなく、全てやらなければならぬということなんです。



本名公民館で開催された「いきいき生活倶楽部」
まずは、自分で血圧測定から



昨年整備された「簡易魚道」
魚道を使い遡上するヒメマスが確認された



奥高伸議員の 一般質問

『農地利用意向調査の結果と町の対応は』

優良農地を守っていく

問 耕作できなくなった遊休農地の利用意向について、農地利用中間管理機構、農地利用集積円滑化団体等の仲介により耕作放棄地の解消、発生防止、優良農地の有効利用を目指しての調査であったと理解している。以下について調査結果と今後の町の対応について伺う。

問① 農地中間管理機構による仲介の実績は。

答 町長 中間管理機構への貸し付けを希望するものが、1470筆で約58haあり、全て福島県中間管理機構へ通知しましたが、貸し借りが成立するものはありませんでした。

問② 農地利用集積円滑化団体への管理委託の件数と面積は。

答 町長 意向調査での実績はありません。

問③ 農地利用最適化推進委員会の開催は。

答 町長 特に農地利用最適化推進委員会は開催していません。毎回、農業委員会へ出席していただき、議案について審議の際にご意見をいただき情報共有を行っています。

問④ 遊休農地解消への町の対応は。

答 町長 農業委員や農

地利用最適化推進委員と土地の状況を確認しながら活用方法について検討していきます。

問 意向調査を今後の農政にどう活かそうと思っ

答 産業課長 この意向調査については、農業者に不利益を講じさせないために、農地として使っていない部分については「非農

地化」にすることが一番の狙いでした。農業者に不利益をかけないために法的に事務的な処理をしたということですので。これから出てくる部分は本当の遊休農地、優良農地が高齢化によって手放されていくことになると思いますので、耕作放棄地にならないような対策を、今後は進めていきます。

『ヒメマス遡上の環境整備を』

関係機関と取組んできている

問 今年も沼沢湖の多くのヒメマスが部落内を流れる「前ノ沢」に遡上した。しかし、河川環境が悪く湖水からわずかの距離しか遡上できず、せっかくの遡上も自然の産卵・孵化にもつながらない状況だ。ヒメマス遡上の季節は町の紅葉シーズンとも重なる。沼沢湖畔の紅葉とヒメマ

スの遡上・産卵の様子が一緒に見る事ができれば観光資源としても大きな目玉となる。前ノ沢の河床の整備、魚道の設置などヒメマス遡上の環境整備が必要と思うが、町長の考えは。

答 町長 沼沢湖のヒメマスは食材としての魅力にとどまらず、稚魚の放流や親マスの遡上の様子は

観光の面からも大きな目玉になると思っています。前ノ沢の整備は、昨年より河川周辺の草刈りと河川内の柳等の除去作業、産卵床の整備を行いました。また、本年度も5月と9月に川沿いや河川内の草刈り作業、産卵床の整備、簡易魚道の設置を行いました。今後は河川の上流部分で

残っている雑木の除去や草刈り作業等を実施することとあわせ、整備した流域の維持管理を図ります。また、宮下土木事務所の事業で遊歩道や魚道の整備が計画されています。今後関係機関と意見交換を実施しながら、より良い環境整備になるよう努めていきます。



「議会だより200号の 発行にあたり」

昭和30年四ヶ村が合併し金山村となり、その年の12月に議員選挙が行われ22名の村議が選出されました。

昭和33年町制施行により金山町議員となり町と共に歩んできました。

金山町議会だより第1号は、昭和43年6月議会の審議内容について発行。以来、定例議会ごとに発行を重ね本号で200号となりました。50年前は1万人を超えた町民で家族も多く、子供の声が町中に響き聞こえていたことが、今では夢のようであります。今日では、町民は2千人強までに減少し、過疎・高齢化は進む一方であり、町民の暮らしも大きく変わってきました。隣近所は空き家が増加し集落の維持も容易でない現状。過疎化が進み四国の村では議員のなり手不足となり村総会の検討との報道もあります。私共議員は町民の代表として諸課題施策を決定することが課せられております。

議会だよりは、町の広報誌と異なり施策の審議・決定経過について町民にお知らせする広報誌です。発行に当たっては、発刊の言葉として、「編集の厳正中立、事実問題を報道する」とあります。現在では、議案の審議経過、発言内容と共に一般質問は一問一答制を採用したことで審議経過について、より詳しく報告することに取り組んでいます。また、議案の採決結果についても一昨年発行の194号から賛否について議員個々の採決結果についても詳しく載せて発行することができました。多くの町民の方々に読んでいただけるように編集し発行するかを念頭に、これからも、町民と議会をつなぐ冊子として「議会だより」をお届けしてまいります。

(議会だより編集委員会委員長 馬場 清次)

町村議会議員研修会に参加 「地方分権と議会改革」を研修

2月1日に、町村議会議員研修会がビックパレットふくしまで行われました。研修会では、「地方分権時代の自治体議会改革（明治大学教授：牛山久仁彦氏）」と「時局展望（政治ジャーナリスト：泉 宏氏）」について講演が行われました。今後の議会運営に活かそうと県内各地の町村議会議員が一堂に会し、真剣に聞き入っていました。



県内町村議会議員約600人が参加

ごあんない

次回の定例会は、3月9日ごろ開会の予定です。

一般質問は3月12日ごろとなります。

お気軽に傍聴においで下さい。

○役場1階の受付で「傍聴券」を受け取り
4階の議場においで下さい。

〔発行責任者〕 議長 五ノ井清二
〔編集委員〕 委員長 馬場 清次
副委員長 黒川 廣志
委員 栗城康太郎
〃 青柳ヨシ子
〃 加藤 賢亨
次回、金山町議会だより第201号は、5月中旬ごろ発行の予定です。